本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消　耗 ●電池が消耗しますと「ライトが点灯しなくなったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」「時刻の狂いが目立ったり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必らずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必らず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表　示　方　式：FE型液晶デジタル表示
基　本　機　能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後・曜日
カレンダー表示＝年・月・日・曜日（年は西暦年の下2桁を表示）
ストップウオッチ：計測単位＝1/100秒
機　　能：計測範囲＝6時間59分59秒99（以後0に戻り自動スタート）
計測機能＝通常計測・積算計測・ラップ計測・1・2着同時計測
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝30秒間
時報アラーム　毎正時に電子ブザーが2回（1秒間）鳴ります。
サウンドデモンストレーション
セット機構：時刻・カレンダーセット機構　秒合わせ機構（±30秒クリア）
アラームセット機構
そ　の　他：24時間制表示機能
完全無修正フルオートカレンダー機能（西暦2029年まで表示）
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：リチウム電池（BR-2320）1個　電池別途販売
電池寿命：約6年（1日当り、ライトを1秒間1回点灯し、ブザーを30秒間鳴らした場合）

アラーム機能の使い方

アラーム機能には以下の2つがあり、両方同時に使えます。
○**時刻アラーム**…任意の時刻をセットできるアラームです。
○**時報アラーム**…毎正時（00分のとき）にピッピッとブザーが2回鳴ります。

●時刻アラームの使い方

★セットのしかた

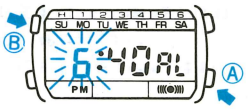
(1) Ⓒボタンを押してアラーム表示（秒桁が"AL"あるいは"--"）にします。



「時」のセット

(2) Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。Ⓐボタンを押すごとに「時」が進みますので、※合わせたい「時」に合わせます。

※AM、PMは「12」をすぎるごとに入れ替わります。



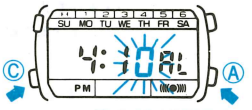
「10分台」のセット

(3) Ⓒボタンを押すと「10分台」が点滅します。Ⓐボタンを押すごとに「10分台」が進みますので、「10分台」を合わせます。



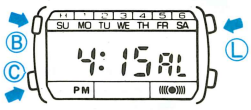
「1分台」のセット

(4) Ⓒボタンを押すと「1分台」が点滅します。Ⓐボタンを押すごとに「1分台」が進みますので、「1分台」を合わせます。



セット完了——ブザーON

(5) Ⓑボタンを押すと点滅が止まります。このときサウンドマーク ((●)) が点灯していないときはⓁボタンを押してください。※以上でセットは完了です。Ⓒボタンを押せば時刻表示に戻ります。



※サウンドマーク ((●)) が点灯していませんと、セット時刻になってもブザーは鳴りません。

★アラーム時刻の変更・解除

変更…上記の方法で新たにセットしなおします。
解除…アラーム表示にし、Ⓛボタンを押し、サウンドマークを消します。

★鳴っているブザーを止めるには

ブザーは30秒間鳴ります。途中で止めるときは、Ⓛボタンを押します。



●時報アラーム

アラーム表示のとき、Ⓐボタンを押すごとに秒桁が右図のように「--」と「AL」とが入れ替わります。「--」にすると毎正時（00分のとき）にブザーがピッピッと2回（1秒間）鳴ります。



時報アラームが鳴ります。

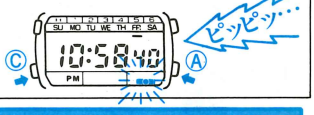


時報アラームは鳴りません。

※時報アラームはサウンドマーク ((●)) の点灯、不灯にかかわらずブザーが鳴ります。

サウンドデモンストレーション（いつでもブザーが鳴ります。）

どの表示のときでも、Ⓐボタンと Ⓒボタンを同時に押すと押している間、ブザーが鳴ります。



ご使用上の注意

温　度 ●直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。
●遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁　気 ●磁気の影響はありません。

お手入れ ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬品類 ●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

100M防水時計のご使用上の注意

●水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。（海水に浸したときは、真水で洗い塩分や汚れをよくふきとってください。）
●水中でのボタン操作はできます。（Ⓑボタンを除く）
●防水性能を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●この時計は、電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買いあげの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。（特殊な治具を必要とします。）

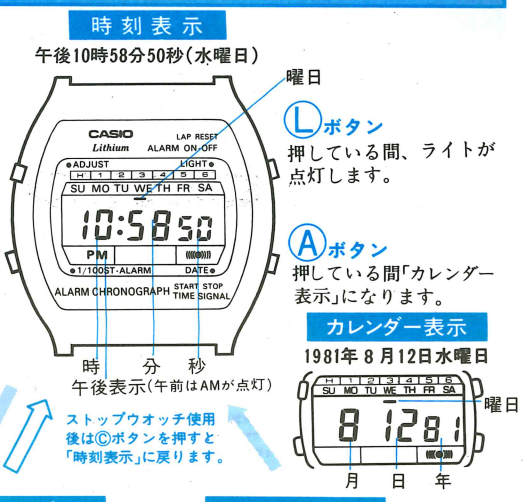
電池交換について

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

表示の見方と操作のしくみ



ストップウオッチ表示

4 時間35分10秒21



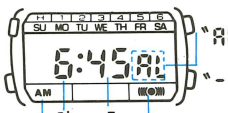
コロン（：）は1秒毎（00～49は点灯、50～99で不灯）に点滅します。

ストップウオッチマーク　ラップマーク（ラップ計測時のみ点灯）

※計測範囲＝6時間59分59秒99。以後0に戻ります。

アラーム表示

午前6時45分にアラームセット



"AL"…時刻アラームのみ鳴ります。

"- - -"…時報アラームも鳴ります。

午前表示（午後はPMが点灯）

サウンドマーク
点灯しているとき、セット時刻にブザーが鳴ります。

※ブザーが鳴っている間点滅します。

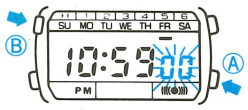
秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

30秒以内の遅れ進みは以下のように簡単に修正できます。月に一度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと時計はいつも正確です。

(1) Ⓑボタンを押します。「秒」が点滅します。



(2) 時報の「ポーン」に合わせてⒶボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。さらにⒷボタンを押すと点滅は止まり、通常表示に戻ります。



秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は電話117番が便利です。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻およびカレンダーが合っていない場合は以下の順序でセットしてください。

「秒」のセット

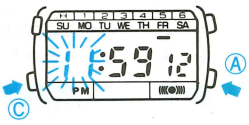
(1) Ⓑボタンを押すと「秒」が点滅して「秒合わせ」の状態になります。このとき前述のように時報に合わせてⒶボタンを押すと「秒」は点滅しながら00秒からスタートします。



「時」のセット

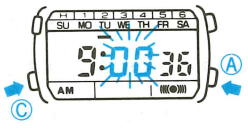
(2) 「秒」のセットのあとⒸボタンを押すと「時」が点滅します。Ⓐボタンを押すごとに「時」が進みますので、合わせたい「時」にセットします。

※午前(AM)/午後(PM)の指定をまちがえないようご注意ください。「24時間制表示」のときは、0～23の間を進みます。



「分」のセット

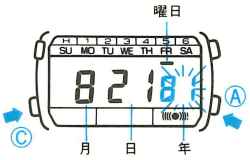
(3) 「時」のセットのあとⒸボタンを押すと「分」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「分」にセットします。



「年」のセット

(4) 「分」のセットのあとⒸボタンを押すと表示は「カレンダー表示」になり「年」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「年」にセットします。

※「年」は、西暦1970～2029年までセットできます。年表示は70、71、72……と進み、29の次は70に戻ります。



「月」のセット

(5) 「年」のセットのあとⒸボタンを押すと「月」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「月」にセットします。



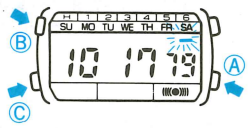
「日」のセット

(6) 「月」のセットのあとⒸボタンを押すと「日」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「日」にセットします。



「曜日」のセット

(7) 「日」のセットのあとⒸボタンを押すと「曜日」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「曜日」にセットします。そのあとⒷボタンを押すと点滅は止まり、時刻表示に戻ります。



時刻・カレンダー合わせのしくみ

●Ⓑボタンを押し「秒」を点滅させたあと、Ⓒボタンを押すごとに以下の順で点滅する個所が移動します。（「曜日」の次は「秒」に戻ります。）

秒 → 時 → 分 → 年 → 月 → 日 → 曜日

●どの個所も単独に修正できますので、Ⓒボタンで修正したい個所を選び、Ⓐボタンでセットします。

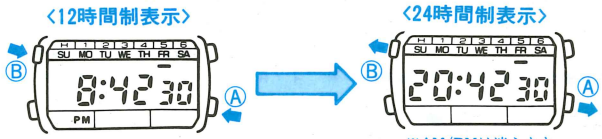
●セットが終われば、どの個所からでもⒷボタンを押すと通常表示に戻ります。

※修正中も時刻は正確にカウントを続けています。

この時計は大の月、小の月、うるう年も自動判別する「完全無修正フルオートカレンダー」ですので、1度カレンダーをセットすれば、電池交換時以外は修正する必要はありません。

〔24時間制表示への切替え方〕

Ⓐボタンを押したまま、Ⓑボタンを押し、両ボタンをはなします。



※AM/PMは消えます。

※24時間制表示から12時間制表示に切替える場合も同じ操作です。

ストップウオッチの使い方

Ⓒボタンを押し、ストップウオッチ表示（STが点灯）にします。

●通常の計測

〈スタート〉 Ⓐボタンを押す…計測開始（コロンが点滅し始めます）
〈ストップ〉 Ⓐボタンを押す…計測停止（コロンの点滅が止まります）
〈リセット〉 Ⓛボタンを押す…表示が0に戻ります

※ロスタイムがある場合（積算計測のしかた）
ストップ後、リセットせずに再スタート（Ⓐボタンを押す）すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●ラップタイム（途中経過時間）の計測

〈スタート〉 Ⓐボタンを押す…計測開始（コロンが点滅し始めます）
〈ラップ計測〉 Ⓛボタンを押す…ラップタイムが表示されます（LAPが点灯します）
〈ラップ解除〉 Ⓛボタンを押す…ラップが解除されます（LAPは消えます）
〈ストップ〉 Ⓐボタンを押す…最終タイムが表示されます（コロンの点滅が止まります）
〈リセット〉 Ⓛボタンを押す…表示が0に戻ります

●1着・2着のタイム計測

〈スタート〉 Ⓐボタンを押す…計測開始（コロンが点滅し始めます）
〈1着がゴール〉 Ⓛボタンを押す…1着のタイムが表示されます（LAPが点灯します）
〈2着がゴール〉 Ⓐボタンを押す…表示はそのままです（コロンの点滅が止まります）
〈2着のタイムは〉 Ⓛボタンを押す…2着のタイムが表示されます（LAPは消えます）
〈リセット〉 Ⓛボタンを押す…表示は0に戻ります

※ストップウオッチ計測中にⒸボタンを押して、時刻表示あるいはアラーム表示にしても計時には一切影響はありません。但し、ラップ計測時（LAPが点灯）に、この操作をしますとラップは解除（LAPが消える）されます。

（アラーム機能の使い方は裏面をお読みください。）